

小学五年
適性検査A
 解答と解説

1

問二 地球温暖化	問一【例】				
	三つ目	二つ目		一つ目	
	外	記号	里	人	人
	来	イ	地	の	間
	生	オ	里	手	に
	物	(完巻) (順不問)	山	が	よ
	や		の	加	る
	化		バ	わ	開
	学		ラ	る	発
	物		ン	こ	記号
質	ス		と	エ	
な	が		に	カ	
ど	崩		よ		
の	れ		っ		
影	て		て		
響	き	保			
記号	て	た			
ア	い	れ			
ウ	る	て			
	こ	き			
	と	た			

問三【例】				
め	人	命	た	な
、	間	を	プ	る
結	を	お	ラ	べ
果	ふ	び	ス	く
的	く	や	チ	使
に	む	か	ツ	わ
人	生	し	ク	な
間	態	て	が	い
を	系	い	海	よ
守	の	る	の	う
る	バ	か	生	に
こ	ラ	ら	物	し
と	ン	だ	の	た
に	ス	。他	体	い
つ	が	の	内	。
な	保	生	に	な
が	た	物	た	ぜ
る	れ	を	め	な
と	る	守	こ	ら
思	こ	る	ま	、
う	と	こ	れ	人
	に	と	、	間
	な	は	生	が
	る	は	物	す
	た	の	の	て

2

問題										【例】
深	ん	い	も	で		う	も	と		
ま	重	。	ら	、	友	に	ま	き	自	
り	す	た	え	そ	だ	な	た	、	分	
、	る	が	る	の	ち	る	友	自	と	
友	こ	い	よ	相	に	と	だ	分	性	
だ	と	の	う	手	な	筆	ち	は	格	
ち	に	考	に	の	り	者	自	だ	や	
と	つ	え	、	意	た	は	身	れ	も	
の	な	を	理	見	い	述	の	で	の	
関	が	認	由	を	と	べ	心	も	の	
係	る	め	や	よ	思	て	を	な	考	
が	か	あ	具	く	う	い	持	い	え	
深	ら	う	体	聞	相	る	つ	自	方	
ま	だ	こ	例	き	手	。	こ	分	が	
っ	。	と	を	、	は		と	自	違	
て	ま	は	交	自	自		を	身	う	
い	た	、	え	分	分		た	の	相	
く	、	た	て	の	と		が	心	手	
と	た	が	話	考	考		い	を	と	
思	が	い	す	え	え		に	持	友	
う	い	の	よ	を	方		認	ち	だ	
。	の	立	う	理	が		め	、	ち	
	理	場	に	解	違		あ	友	に	
	解	を	し	し	う		う	だ	な	
	が	そ	た	て	の		よ	ち	る	
250	200					100			25	

(配点)

}	①〔問一〕ぬき出し……各2点	}	計100点
	記号……各3点		
	〔問二〕……5点		
	〔問三〕……30点		
②……50点			

【解説】

1

問一

B2

情報を獲得する

比較

置き換え

具体・抽象

線部に「こうした危機の原因はなんだろう」とあります。が、「こうした危機」については、ほ乳類、は虫類、などの多きが絶滅のおそれにある、ということが前の部分に書かれています。このことについて、本文の第二段落には第一の原因として「人間による開発」ということが書かれています。第七段落には第二の原因として「人の手が加わるることによって保たれてきた里地里山のバランスが崩れてきていること」、第十段落には第三の原因として「外来生物や化学物質などの影響」ということが書かれています。これらの部分を字数通りに抜き出す必要があります。

「人間による開発」という原因にあてはまる例として、エの「山を切り開いてマンションを建設したところ、それまで見られていた小動物がいなくなった。」およびカの「ぬま地だったところをうめ立てたことによって、わたり鳥が飛来しなくなった。」があてはまります。

「人の手が加わるることによって保たれてきた里地里山のバランスが崩れてきていること」という原因にあてはまる例は、イの「米づくりをやめてしまった水田から、ドジョウやゲンゴロウがすがたを消した。」およびオの「人が管理しなくなった竹林で竹が密集して生えた結果、他の植物が育たなくなった。」があてはまります。

「外来生物や化学物質などの影響」という原因に対応した例は、アの「水田や畑に除草剤をまくようになってから、周辺で

見られるトンボの数が大きく減った。」およびウの「外来種セイヨウタンポポが生息地を増やす一方、固有種のニホンタンポポが生息地を減らした。」があてはまります。

問二

B1

情報を獲得する

理由

比較

具体・抽象

生物多様性を脅かす可能性があるものについては、第十二段落に書かれています。地球環境問題が生物多様性に影響を及ぼすのですが、問いには「その原因となるものとそれによって起こるできごとについてまとまった表現で説明した一文」とあります。原因と起こる出来事についてまとまった表現で書かれた一文は、同じ段落に「地球温暖化が進めば、寒冷な地域や高地でしかすめない生き物は危機を迎える。」という文があります。この文のはじめの五字を抜き出します。

問三

C1

情報を獲得する

理由

比較

具体・抽象

推論

日本の生物多様性を守るために、どのように行動したいかということについてあなたの意見を理由とともに述べる問題です。

本文には生物多様性が失われていく原因やその結果として起こることがいくつか書かれています。それらを手がかりにしながら自分の意見を組み立てていくこともできます。たとえば、絶滅危惧種が生息する場所ではごみを捨てないようにする、あるいは家庭からよごれのひどい水は流さないようにする、といったことが考えられます。自分なりの意見をよく考えて書きましょう。

※以下のポイントを中心に見ます。

① 日本の生物多様性を守るために行動したいことが書かれて

いるか

- ② ①の理由が書かれているか
- ③ ①②に過不足、文や語句の表現、文の意味に誤りがないか
- ④ ③が一点以上合っている上で以下の④⑤⑥を見ます。
- ⑤ ④ 答案用紙の使い方が正しいか
- ⑥ 誤字・脱字・送り仮名、仮名遣いの誤りがないか
- ⑦ 字数制限が守られているか

問題 2

C2 情報を獲得する 理由 比較 関係づけ 具体・抽象

自分と性格やものの考え方が違う相手と友だちになりたいとき、どのように接したいと思うか、自分の考えを書く問題です。

第一段落では、自分と性格やものの考え方が違う相手と友だちになるとき、たがいにとのようなことを認めあうようになるのか、文章に書かれた筆者の考えをまとめます。「自分とは違つた心を持った他人との、友人関係が作られていくと思う。そのとき、きみはだれでもないきみ自身の心を持ち、そして友人もまた彼自身の心を持つことを、たがいに認め合うだろう」とあります。この部分を利用してまとめるとよいでしょう。

第二段落では、自分と性格やものの考え方が違う相手と友だちになりたいときどのように接したいか、あなたの考えを理由とともに書きます。今まで友だちになった人のことを思い浮かべてもよいでしょうし、友だちになりたいと思う相手を思い浮かべてもよいと思います。接する方法については、自分と相手との関係をどう考えるかが大切です。一方的な考えだけでなく、相手に対してどのような気持ちを持ちたいと思うか、よく考えて書きましょう。

この問題では、筆者の考えを第一段落に、あなたの考えを第二段落に書くことが条件に書かれています。問題ごとに条件やきまりが異なるので、問題をよく読むようにしましょう。
※以下のポイントを中心に見ます。

- ① 第一段落について
- ② 文章に書かれた、友だちになろうとする相手と接するときどのように接したらよいか、という筆者の意見が書かれているか

- ③ ①の内容の過不足、文や語句の表現、文の意味に誤りがないか

第二段落について

- ④ 友だちになりたいと思う相手に対してどのように接したいか、ということについて考えが理由とともに書かれているか
- ⑤ ③の内容に過不足、文や語句の表現、文の意味に誤りがないか

全体について

- ⑥ ①④が一点以上合っている上で以下の⑤⑥⑦⑧を見ます。
- ⑦ 段落が問題の指示に従って分けられているか
- ⑧ 解答用紙の使い方が正しいか
- ⑨ 誤字・脱字・送り仮名、仮名遣いの誤りがないか
- ⑩ 字数制限が守られているか